

# すぐに使える決算書 読み方・分析テクニック実践講座

決算書の基本的なしくみから会社の実態把握、経営改善への具体的な対応まで演習を中心に実践解説！ ※簿記の知識がなくても簡単に決算書が理解でき、経営分析や経営改善手法についてマスターができる実践講座です！  
自社だけでなく、得意先の経営状態を判断する力も身につきます！  
※当日、電卓・蛍光ペンをお持ちください。

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2019年 12月 19日 (木) 10:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京・麹町)

＜講師＞ 松田会計事務所 所長 税理士 松田修 氏

【講師略歴】昭和61年税理士試験合格。税理士。松田会計事務所 所長。学校法人村田簿記学校講師(法人税法、簿記論担当)を経て、辻会計事務所(現 辻・本郷税理士法人)入所。数多くの企業の会計・税務業務や経営相談などを経験。平成5年に独立し、「税理士松田会計事務所」を設立。簿記・税務の専門スクール「麻布ブレインズ・スクール」代表を務めるほか各種実務セミナー講師としても活躍中で、豊富な経験に基づいた分かりやすい解説が受講者から絶大な支持を受けている。主な著書として「Q&Aで基礎からわかる固定資産をめぐる会計・税務」「Q&A国際税務と海外勤務者・非居住者の税金」「Q&A経理担当者のための税務知識のポイント」など多数。＜受講者特典:当日、テキストとして講師著『はじめてわかった決算書プロのコツ最新版』(リイド社)を配付します。＞



【申込方法】 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名 (税込・資料/昼食代含) ※申込書をご送付いただく際は、ご使用のFAX機の使用方法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	41,800円 (本体価格 38,000円)	一般	46,200円 (本体価格 42,000円)
-----	------------------------	----	------------------------

191714-0606		すぐに使える決算書 読み方・分析テクニック実践講座	
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会HPにてご確認ください。〔セミナー・会員研究会〕-【よくあるご質問】

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail:tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F 【DM変更連絡】03-5215-3514

## ・プログラム・

### I 決算書 (損益計算書・貸借対照表) 編

1. 損益計算書の見方・読み方、経営分析
  - (1) 損益計算書に登場する5つの利益
  - (2) 増収と減収、増益と減益、当期の決算を総括する
  - (3) 売上原価率、粗利益率を計算し、その内容を理解する
  - (4) 粗利益率の低下に注意! わずか10%、5%の値引きが利益にあたる意外な影響
  - (5) 営業利益率、経常利益率を計算し、その内容を理解する
  - (6) 会社に利益が出るとどんな税金が課税されるか
  - (7) 会社利益に対して税金は何%? 実効税率を理解する
  - (8) 一人当たり「月間経常利益」で見えるもの
  - (9) 営業利益に占める「正味支払金利」の割合とその改善方法
2. 貸借対照表の見方・読み方、経営分析
  - (1) 流動資産・固定資産の内容を理解する
  - (2) はたして資産? 繰延資産の正体
  - (3) 流動負債・固定負債の内容を理解する
  - (4) 「純資産の部」をやさしく理解するポイント
    - ① 株主からの払込金
    - ② 過去の利益の蓄積 (内部留保)
  - (5) 自己資本 (純資産の部) を充実させる2つの方法を学ぶ
    - ① 増資
    - ② 利益を出す
    - ③ 現金はどちらが残るか?
  - (6) 自己資本比率を計算し、その内容を理解する

### II 決算書からキャッシュフローを徹底検証

1. 実践 キャッシュフロー経営
  - (1) キャッシュフローを良くする(悪くする)4つの原因
  - (2) 「利益」が出ても現金預金が増えないのはなぜか?
  - (3) キャッシュフロー計算書が入手できなくても大丈夫! 決算書からキャッシュフローを計算する
2. 計算書からキャッシュフローを読む「6つの経営分析」
  - 【経営分析1】支払能力は充分か? 流動比率・当座比率を計算する
    - 【経営分析1】売掛回収サイトと買掛金支払サイトの違い
      - ① 売掛債権 (売掛金、売掛債権) は何日で回収しているか?
      - ② 買掛債務 (買掛金、支払手形) は何日で支払っているか?
      - ③ サイトの差に無理は無いのか?
  - 【経営分析3】商品手持日数を把握し、不良在庫の発生を防ぐ
    - 【演習】「商品手持日数」を実際に計算する
      - ① 何日分の在庫を持っているか?
      - ② 「不良在庫」は発生していないか?
  - 【経営分析4】余分な資産はないか? 効率的な経営をしているか? 「総資産経常利益率 (ROA)」でチェックする
    - 【演習】「総資産経常利益率 (ROA)」を実際に計算する
      - ① 「総資産経常利益率 (ROA)」の目安となる数字を理解する
      - ② 「総資産経常利益率 (ROA)」でわかる資金繰りの良し悪し
  - 【経営分析5】設備投資は適切か? 「自己資本対固定資産比率」と「固定長期適合率」を実際に計算する
  - 【経営分析6】キャッシュフローはB/S (貸借対照表) のこの比率で決まる
    - ① 「倒産会社のB/S」と「優良会社のB/S」を比較する
    - ② 理想のB/Sとは?
3. 倒産会社から学ぶ「経営指数のテッドライン」 この数字を超えたら会社は「死の床」

### III 損益分岐点売上編 ~損益分岐点売上の計算とその応用~

- (1) 損益分岐点売上とは? 変動費、固定費を理解する
- (2) 「損益分岐点売上」を実際に計算する
- (3) 「安全余裕額」と「安全余裕率」を計算する
- (4) 固定費が増加した場合、どのくらい売上がアップさせなければならないか?
- (5) 売上が減少した場合、固定費をどのくらい削減しなければならないか?

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。